

世界最高水準の水泳場としての施設設備と東京 2020 大会のレガシーを最大限に活用した運営を通じて、 一層のスポーツの普及・振興を図り、「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します

基本方針

日本水泳の中心拠点としてのプレゼンスの確立と競技の発展

- ・日水連と構成団体Dとの連携を通じ、大規模かつハイレベルな大会を誘致・開催
- ・障害者競技団体と構成団体Dの繋がりなどを生かし、パラ水泳を誘致
- ・トップアスリートの強化、次世代アスリートの育成を推進

誰もがスポーツや健康増進に取り組むことのできる場の創出

- ・スタジオ・プール等を活用し、多彩で魅力的なプログラムを展開
- ・優れた指導者やアスリートを招聘し、スポーツの普及振興、健康増進を促進
- ・ハード・ソフトのバリアフリーの推進、安全・安心・快適な施設環境を提供

周辺施設等との連携による地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化

- ・周辺施設との連携事業で、にぎわいの創出、地域からのスポーツ振興を展開
- ・シャトルバスやシェアサイクルの活用により、周辺施設との相互利用を促進
- ・「臨海スポーツゾーン」の都立施設とのネットワークによる多様な取組を推進

重点目標



運営方針

- 1 国内外の競技大会の積極的な開催
年間 100 大会を誘致・開催し、質の高い観戦機会を提供
- 2 アスリートの強化・育成の推進
競技団体の練習利用への積極的な施設提供により、強化・育成を推進
- 3 都民のための水泳場としてスポーツや健康増進の推進と情報発信
誰もが充実したスポーツ活動が行える環境整備と複合的な情報発信を実施
- 4 隣接公園等周辺施設や他の都立施設との連携等による取組の推進
公園と一体的な事業、都立施設とのネットワークによる連携事業を実施
- 5 競技団体との連携と東京2020大会レガシーの活用
大会やスポーツ事業等での連携、ギャラリー等でのレガシー継承の実施
- 6 東京都の施策との連携・協力、都立スポーツ施設としての役割の遂行
- 7 効果的・効率的な管理運営
- 8 安全・安心の確保

これらの方針に基づき、施設の提供・運営をはじめ、様々な事業を展開

施設の提供 (運営方針、休館日・開場時間・利用調整・利用料金)

施策・方針に沿った施設の提供

- 大規模競技大会等への施設提供、魅力的な大会の観戦機会の提供
- アスリートの強化育成、スポーツ・健康増進への積極的な施設提供
- 経験豊富なスタッフによる利用団体に寄り添ったサポート
- 全ての利用者・来場者に安全・安心・快適なスポーツ環境の提供

利用者ニーズを踏まえた休館日・開場時間

- 条例を原則としつつ、大会利用を勘案した弾力的な休館日設定
- 主催者等の要望により、利用時間の繰り上げ延長に柔軟に対応
- 個人使用の需要が最も高まる夏季期間に早期開場を実施

水泳の活動拠点として、多種多様な活動の利用を促進する受付と調整

- 利用形態に応じた公平性・公益性に配慮した利用受付
- 他施設とのネットワークや蓄積したノウハウを活用した調整
- キャッシュレス、インターネット抽選など5つのレスを推進
- 大規模大会誘致戦略チームを設置し大規模大会を誘致

目的・用途に応じた利用料金

施設の運営・施設内サービス

【プール】誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間を創出

- 施設・設備を最大限に活用した運営（長水路・短水路、水深の設定）
- 豊富なプール運営実績に基づく監視体制整備による安全管理
- 開場前、定時、閉場後の念入りな点検確認による事故の未然防止
- 法令以上の自主管理基準に基づく、透明度の高い水環境の創造
- 施設を熟知したスタッフによる、競技会へのきめ細やかな運営サポート

【飛び込み用トレーニングルーム】安全を最優先した運営

- 適切に定めた施設利用の承認基準による安全管理
- スタッフと利用団体の相互監視体制などによる安全な環境の確保
- 飛込教室の開催や指導者育成の取組を通じた競技の裾野拡大

【トレーニングルーム】誰もが利用できる環境を提供

- ファンクショナル（機能的体幹トレーニング）とフリーウェイトの両エリアを充実させ幅広い対象者の利用を促進
- 知識と経験のあるトレーナーが安全で効果的な指導を実施
- 短時間グループトレーニングなど、運動を継続しやすい機会の提供



【メモリアルギャラリー】東京2020大会のレガシーを後世に継承

- 東京 2020 大会アーカイブ資産や独自収集物品を広く公開
- パラ水泳における大会の功績を競技物品とともに紹介
- ICT 技術などを活用した体験型展示の展開
- アーカイブ資産の適切な収集・整理・管理による東京 2020 大会時の努力や取組を将来へ伝達

【受付案内】目的に応じたワンストップの受付

- 利用目的毎の受付と自動開閉ゲートによるスムーズな入場案内
- 施設の基本情報を集約した総合案内の設置
- 磁気ループ設備等を活用したあらゆる利用者に寄り添う施設環境の提供

【苦情・要望】都立スポーツ施設としての透明性の確保

- 利用者の声を真摯に受け止め、公正かつ迅速に対応
- 利用者への説明責任の遂行による信頼関係の構築

事業の提供

【スポーツ振興事業】実施率 70%の達成に向けた効果的な事業の推進

- 多様な機会を提供する「する」スポーツの推進
- 優れた指導者等の技術指導による競技力向上
- トップアスリートとの交流機会による水泳の裾野拡大
- 共生社会の実現に向けた障害者スポーツの振興
- 東京 2020 大会を記念したアクア杯の開催による大会レガシーの継承
- 観戦招待事業による「みる」スポーツの推進
- 指導者講習による「支える」人材の育成
- 新たなムーブメントとの連動で効果的に事業を展開

【スポーツの日】スポーツの理解・関心、意欲を高める事業を実施

- 様々な年齢の方が参加できるプログラム
- 東京 2020 大会のレガシー継承など、多様なプログラムを展開
- トップアスリートとのふれあいや力を間近で体感する機会を提供
- 個人使用の無料開放を実施し、再来場・施設利用を促進

【自主事業】年齢別や種目等幅広いニーズに応える事業を提供

- 多様なプログラムの提供でスポーツ実施率向上に貢献
- 初めての人、低体力者、運動経験の少ない人が参加しやすい体制の整備
- ニーズに的確に対応した事業の提供と定期的な内容更新の実施
- 月ごめ型と都度型の教室設定し、受講者の利便性を向上

【周辺連携事業】周辺施設と連携し、地域の魅力向上・活性化

- 隣接公園や他の施設と連携したイベントでスポーツ振興やにぎわいを創出
- ランニングステーション機能により、施設と公園の相互利用を促進
- シェアサイクル設置でのアクセス向上などにより、利用のしやすさを推進
- 合同防災訓練の実施などによる公園機能の拡充への取組
- インターンシップの受け入れや地域清掃などによる地域への貢献



【利用者に対するサービス提供事業】施設の付加価値の創出

- 飲食物等の販売や駐車場の運営などによる利便性の向上
- 無料シャトルバスの運用等、施設の立地等を踏まえたアクセシビリティの改善
- 利用目的に合わせた割引制度等の導入による満足度の向上
- スマートミラーの貸出など、最新コンテンツの提供
- 地域のサークル活動等へのエントランス貸出など、新たな施設活用の創出



【広報】従来広報の強化とデジタル広報の促進

- 本施設専用ホームページの WEB アクセシビリティ向上による丁寧な情報発信
- SNS での興味を刺激する情報発信と、情報解析による効果的な広報活動
- チラシの配布など従来広報を強化し、高齢者や地域住民へ訴求

【業務の品質管理】効果的な対応及び継続的な業務改善

- 多種多様な意見収集による潜在的なニーズの把握
- 当グループのサービスレベル水準の向上、情報共有による 18 施設のサービスレベル水準の向上への取組

【18 施設のネットワーク】ネットワークを生かした取組に積極的に参画

- 全 18 施設のネットワークでポテンシャルを最大限に発揮する取組
 - 「SPOPITA」を最大限活用、他の都立施設に活用を推進し発信力を強化
 - アーカイブ資産の貸出や競技用具の共有等によるニーズ対応力の強化
 - 複数の都立施設を同時中継する連携など、一体的な取組によるスポーツ振興
- 各施設の特性を活かし、多様な活用を推進する取組
 - 合宿利用などの提案によるスポーツでの更なる活用
 - レジャースポーツ体験などの多様な活用による新たな体験提供
 - 他の都立施設とのネットワークによる東京 2020 大会会場を巡るガイドツアーなど施設・地域と連携した取組を推進

施設・事業の運営基盤

業務ごとに専門家集団を配置した組織体制による効率的・効果的な施設運営と責任体制の明確化

- 館長をトップに、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制の整備

適切な勤務体制・人員配置による業務品質の確保と充実した教育研修によるスタッフの育成

- 大規模大会等の開催時は、観客数の予測に基づき、グループの応援スタッフ投入により最適な人員を配置
- 安全管理、接遇、DX 推進研修等、幅広くスタッフの資質を向上

維持管理と修繕の連携による高水準の施設環境の維持及び施設・物品の長寿命化

- 高品質な保全業務の確立による安全・安心な施設環境の提供と、中長期修繕計画の立案
- 省エネルギー施策等の推進によるライフサイクルコストの縮減

あらゆるリスクに迅速かつ適切に対応できる体制の整備

- リスクマネジメントによる事故等の未然防止と、一時滞在施設としての運営を想定した訓練の実施

「TOKYO Data Highway」を最大限活用した施設利用の提案

- 5G の多様な活用例を紹介・提案し、デジタルを取り入れた施設利用を推進

「ゼロエミッション東京」等の実現に寄与する率先した環境配慮の取組

- 太陽熱集熱機器などの施設設備を有効活用し、「HTT」の取組をはじめとした環境対策を実施

厳格な個人情報保護マネジメント体制の整備と運用

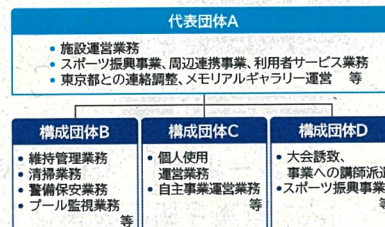
- 「東京都サイバーセキュリティ基本方針」を踏まえた物理的・人的・技術的なセキュリティ体制を構築

東京都のガイドライン等を踏まえた感染拡大防止の取組

- 前方泳者との間隔保持や塩素濃度のモニタリングなど、プール施設の特性を踏まえた感染症対策を実施

収支計画

指定管理料の縮減を図りつつ、高水準の施設・サービスを提供



指定管理料
520,817 千円